

# 経営比較分析表

埼玉県 蕨市

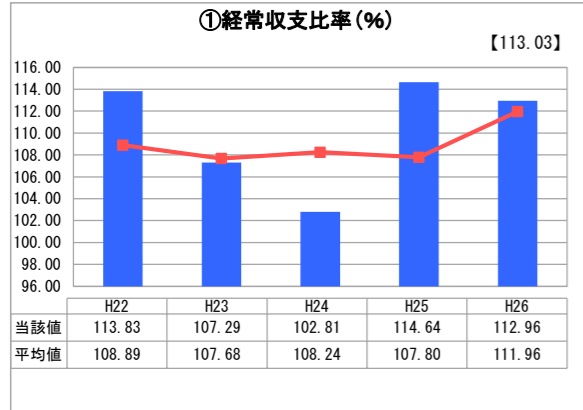
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	69.09	100.00	2,430

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
72,317	5.11	14,152.05
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
72,474	5.11	14,182.78

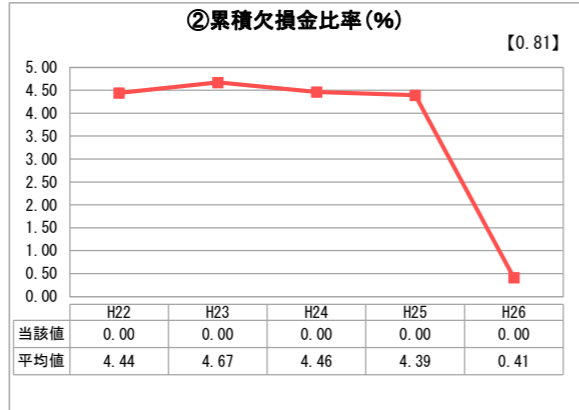
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

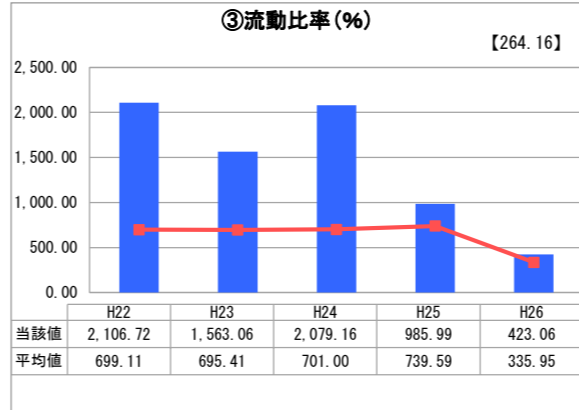
## 1. 経営の健全性・効率性



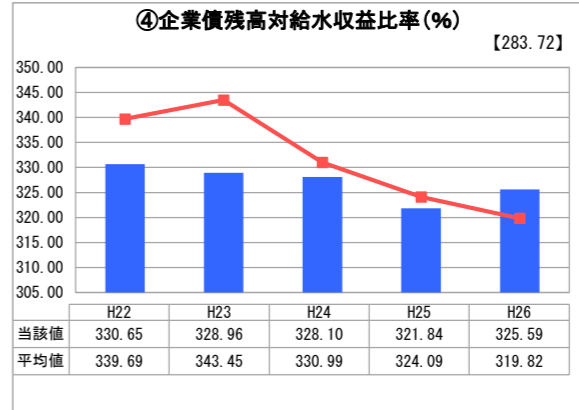
「経常損益」



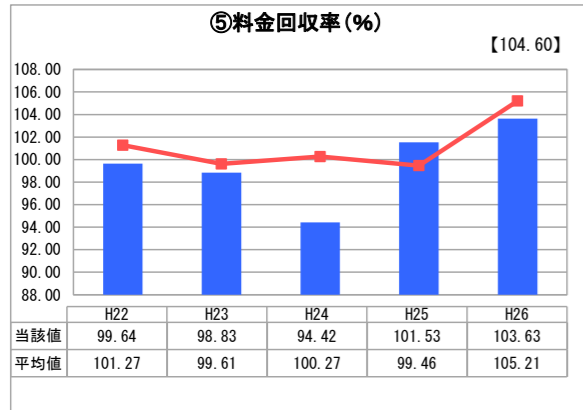
「累積欠損」



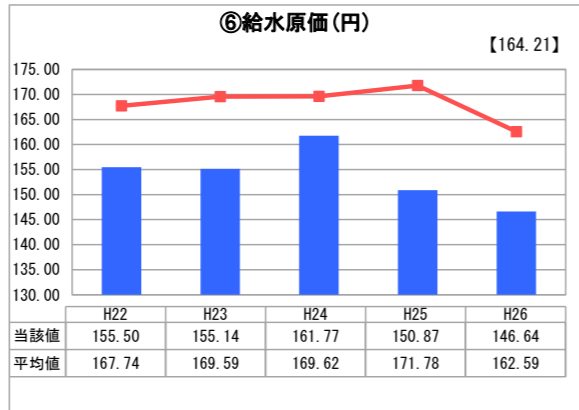
「支払能力」



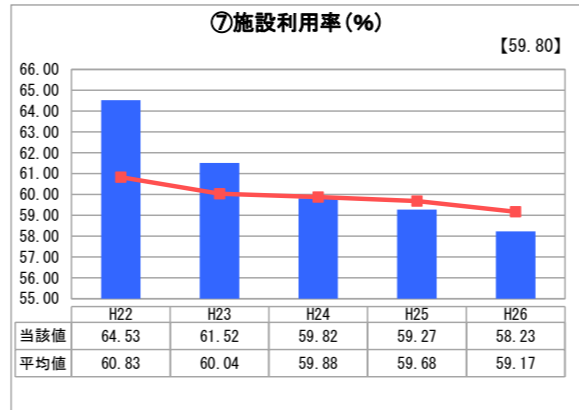
「債務残高」



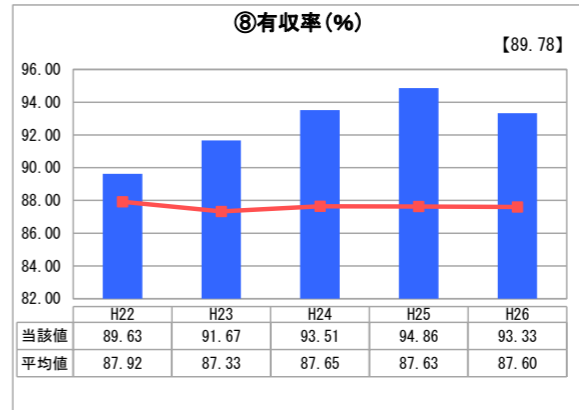
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

## 分析欄

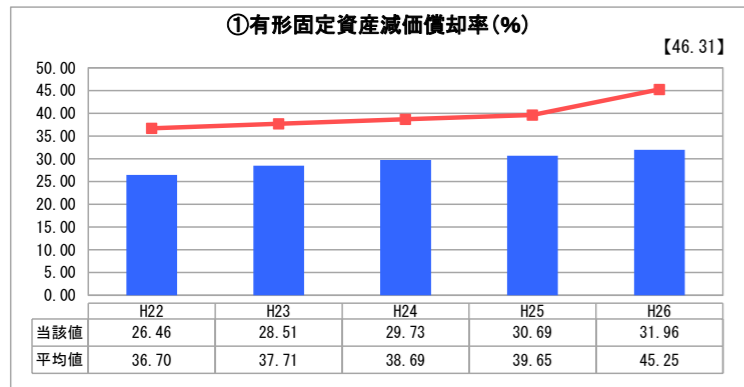
### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び料金回収率が上昇傾向にあり、現在の経営状況は健全に推移している。給水収益は減少傾向が続いている。しかし、健全化計画により費用を抑制し、料金回収率は上がっていることから、経常収支比率は向上してきており、引き続き健全経営を維持できると考えている。有収率の水準は類似団体に比較しても高い数値を保有しているが、施設利用率が低いことから、今後施設のダウンサイジングの検討を要する状況である。

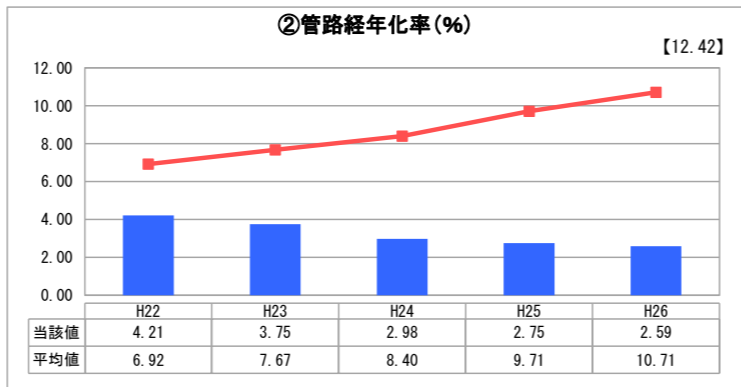
### 2. 老朽化の状況について

平成20年度に塚越浄水場の改修、平成22年度には中央浄水場の配水池の更新、平成27年度には中央浄水場の電気機械設備の更新を終え、今後耐用年数を経過する経年資産や老朽化資産は比較的少ない。管路についても計画的な更新を行っていることにより、経年率は類似団体に比較して低い数値となっている。今後もアセットマネジメントの実施により、施設設備の長寿命化と更新費用の低減化を図る。

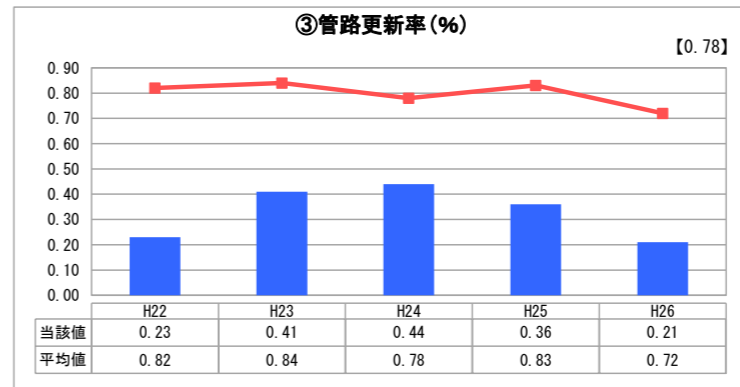
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 全体総括

人口減少により今後も給水収益の減少が続くと見込まれることから、料金回収率の向上と費用の削減による財源の確保を推進してゆく。なお、今後の課題としては

- ・水道料金収入の減少
- ・管路の耐震化
- ・施設規模の最適化
- ・施設設備の更新需要平準化

などがある。今後の取り組みとして、アセットマネジメントを実施して長期的な視点で計画を実行する。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。